

# 実験3 / せいを縮小して居住空間の広がり向上する

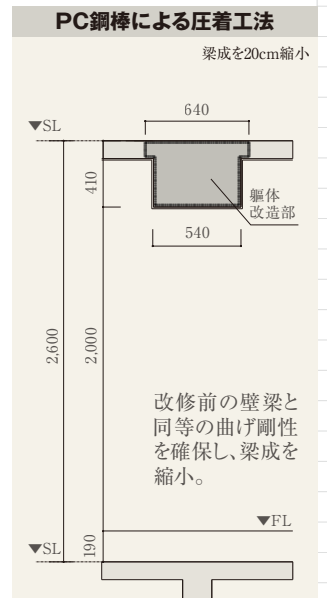
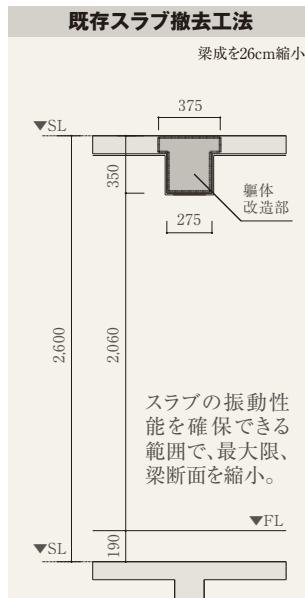
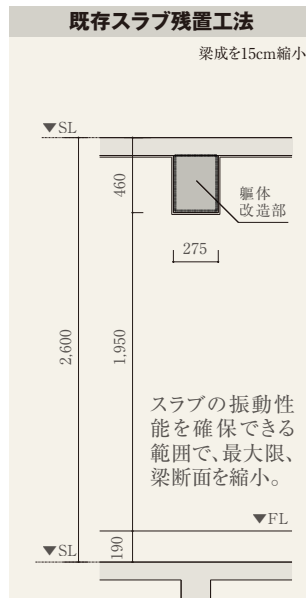
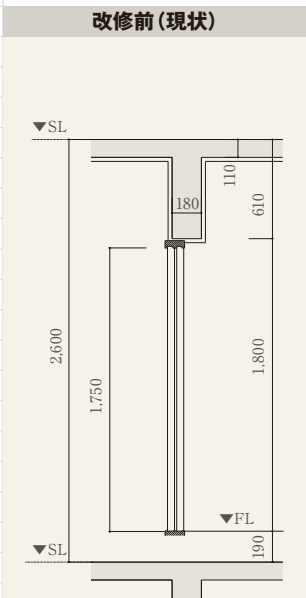


改修前



改修後

梁成を縮小して、袖壁も撤去。居住空間の広がり向上するのが目的。



「ひばりが丘団地」の既存の梁成は61cm、梁下の高さは180cm。現在の新築の梁下高さ(約190cm)と比べて低く、その改善が求められている。そこで、右の図面と写真のように、改修範囲や新旧構造躯体の接合方法を変えた3つの工法について試験施工を行った。いずれも、スラブの振動性能も同等以上になったことが確認できたという。



ブレイカーによる解体。



ウォータージェットによる解体。



解体工事。



解体工事完了。



スラブの一部も撤去。



新設梁配筋。



新設梁配筋。



コンクリート打設後。



PC鋼棒緊張後。



コンクリート打設後。